**平成30年度　国立山口徳地青少年自然の家　教育事業**

**「徳地アドベンチャー教育プログラム研修会」**

**開催要項**

１．趣 旨　　「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下，ＴＡＰ）の体験を通して，その教育効果を体感するとともに理念や手法を理解する。

２．主　　催　　国立山口徳地青少年自然の家

３．後　　援　　山口県・広島県・島根県・福岡県教育委員会

４．期　　日　　平成30年10月13日（土）～14日（日）　1泊2日

５．会　　場　　国立山口徳地青少年自然の家

　　　　　　　　　〒747-0342　山口県山口市徳地船路668

６．講　　師　　国立山口徳地青少年自然の家　 企画指導専門職等

７．対　　象　　一般・大学生の方　先着30名

（例）

・小・中・高等学校・専門学校等の教員，教員を志す学生

・子ども会活動や学童保育・放課後子どもクラブ等，青少年教育に携わっている方

・企業で新人研修等の研修を担当されている方

・スポーツチームの指導者や，部活動の指導者

　　　　　　　　　・ＴＡＰやプロジェクトアドベンチャーなどに関心のある方等

８．参 加 費　　3,000円（食事代・シーツ洗濯代・保険代・教材費）

※　保険は，1口120円の国内旅行傷害保険。

（死亡・後遺障害：165万円，入院：1日あたり1,500円，通院：1日あたり1,000円）

９．申し込み　　・Google Forms （右のＱＲコード）より申込

・参加申込書に必要事項を記入の上，ＦＡＸまたは，メールで申込。

　　　　　　　　　・先着順（決定通知書を送付）

**【締め切り】10月5日（金）**

１０．持 ち 物　 野外活動に適した服装（長そで，長ズボン，長靴下），屋外で運動できる靴，

着替え，帽子，カッパ（上下セパレートのもの），洗面用具，懐中電灯，水筒，筆記用具，健康保険証，常用薬（必要な方のみ），防寒着，防虫スプレー等

１１．プログラム

（１）日程

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 13日 | 10:00　　10:30　　　　12:00　13:00　　　　　　　　　17:00　 　19:00　　　　 21:00 | | | | | | | |
| 開講式OR | セッション① | 昼食 | セッション  ② | 夕食・入浴 | セッション  ③ | | 情報交換会 |
| 14日 | 9:00　　　　　　　　　12:00　13:00 　　　　 　　　14:30　 15:00 | | | | | | | |
| セッション  ④ | | 昼食 | セッション  ⑤ | 閉講式 | |  |  |

（２）内容

〇セッション①：参加者相互が和やかな関係をつくるための規範づくり。

〇セッション②・④・⑤：以下のことを体験により体感する。

・アイスブレイクやコミュニケーション，イニシアチブなど，様々なアクティビティ

・ローエレメント，ハイエレメントの特徴や教育効果の違い

・ふりかえりの効果

〇セッション③：以下のことを講義により理解する。

・ＴＡＰの考え方

・活動の基本的な組み立て方

・ファシリテーターの意味や役割等

・ハイエレメント実施について

１２．送迎

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 発車場所・時刻 | 東京方面行 | 九州方面行 |
| 13日 | 新山口駅南口( 8:25発) | ひかり580号( 8:15着) | こだま723号( 8:17着) |
| 山口大学正門前（ 8:55発） | | |
| 14日 | 新山口駅南口（16:40着） | こだま750号(16:53発) | のぞみ33号(16:58発) |
| 山口大学正門前（17:30着） | | |

１３．そ の 他

（１）　事業中に撮影した写真や制作物等を，本所の事業に関する報告書や広報等に使用することが

ある。

（２）　本所が取得した個人情報は本事業以外に使用しない。

～ 参 考 ～

＜お知らせ＞

○徳地アドベンチャー教育プログラム指導者研修会①　　平成30年12月3日（月）～5日（水）

○徳地アドベンチャー教育プログラム指導者研修会②　　平成31年2月9日（土）～11日（月）

○本所には，TAPの外部講師として登録し，利用団体に指導に当たることができる制度があります。

　今回の研修に参加された方が上記の研修のどちらかに参加し，修了していただくことが条件となります。

＜ＴＡＰとは＞

○「プロジェクトアドベンチャージャパン（PAJ）」が行っている「プロジェクトアドベンチャー」（PA）を基盤にしたグループワークプログラムです。

○チームワークの向上，協調性や自己肯定感の醸成の中で，個を成長させるプログラムです。

○1グループ（最大20名）につき1名のファシリテーターが指導にあたります。

○特に，「エレメント」と呼ばれる道具・設備を使った活動が特徴です。今回の研修でも一部使用します。

○TAPは，学校のみならずスポーツチームや企業でも活用されています。

○詳しくは，「プロジェクトアドベンチャージャパン（PAJ）」のホームページをご覧ください。

　　　　　　　　　　　　　プロジェクトアドベンチャージャパン　　　検索

**（１）目的（効果）**

　以下の目的を設定することができます。換言すれば，教育効果があるということです。

・協力　　　　　　　　→　気持ちを合わせる，力を借りる，力を貸す

・コミュニケーション　→　思いや考えを伝える，受けとめる

・自信　　　　　　　　→　成功体験，失敗から学ぶ

・挑戦　　　　　　　　→　チャレンジすることの喜び，自分が知らない自分の発見　等

**（２）方法**

　① 　「冒険（アドベンチャー）」の身体的な危機が迫ればやらざるをえない，切羽詰まった状態（非日常のドキドキ感）を活用します。

　②　「体験学習」といい，体験から気づくことや学ぶことを中心とします（学ぶ者の主体性）。

　③　指導者の役割は，「ファシリテート」といって，「気づき」を促すことです。

　④　他の活動プログラムの指導にも，この手法を適用することができます。

　　　例：登山，キャンピング，野外炊飯，オリエンテーリング等

**（３）展開例**

プログラムは，以下の活動により構成されています。

①　緊張を解きほぐす活動

②　コミュニケーションを活性化する活動

③　グループで課題を解決する活動

④　信頼感を高める活動

⑤　目標設定や活動を振り返る話し合い